

農作業特報

令和7年7月 日

魚津市
魚津市農業技術者協議会

7月23日に早生品種（てんたかく）のほ場で「斑点米カメムシ類」の生息密度調査を行ったところ、1回目防除後でしたが、多数確認されました。「魚津米」の品質を高めるため、「追加防除」を行いましょ

う。併せて、「コシヒカリ」の出穂期は、平年より2日程度早い7月30日頃と推測されます。高温登熟による品質低下に留意し、高品質・良食味米に仕上げましょ

追加防除について

- 対象：水稻（中生、晩生）
- 【防除方法】



防除時期 (目安)	使用農薬名	10aあたり 散布量 (希釈水量)	使用時期 (収穫前日数)
「傾穂期防除」 (2回目)から 7日後	(粉 剤) トレボン粉剤DL	4 kg	7日前まで
	(液 剤) トレボン乳剤	2,000倍 150ℓ	14日前まで

- ・散布時期の間隔は、10日以上空けないようにましょ
- ・使用基準（収穫前日数）を厳守のうえ、散布ましょ
- ・畦畔の雑草にも薬剤がかかるように散布ましょ
- ・風向きや風速、散布量などに注意し、周辺の作物への飛散防止に努めましょ

コシヒカリの追肥 ……淡いほ場は、追肥（追加穂肥）

出穂が早く、高温登熟の恐れがあります。出穂前の葉色を確認し、淡い場合は追加穂肥を施用し、しっかり養分を供給ましょ

【追加穂肥の目安】

出穂14～5日前(7/16～25)に
葉色が4.0未満(砂壤土は4.2未満)



出穂直前(7/29頃)まで
追肥3号 7～10 kg/10a

出穂後の水管理

本年は、用水量がかなり減少しており、渇水が懸念されましょ

- (1) 水不足が懸念される地域は、地域などで水の利用調整に努めてください。
- (2) 水のかけ流しは、絶対に行わない。
- (3) 水尻は、しっかりと止める。
- (4) 畦畔などから漏水していないか点検する。
- (5) 出穂から20日間の「湛水管理」の水深は3cm程度にとどめ、水がたまったら、速やかに入水を終える。また、地域での水の利用計画があり、入水できる日が決まっている場合はその日に入水する。

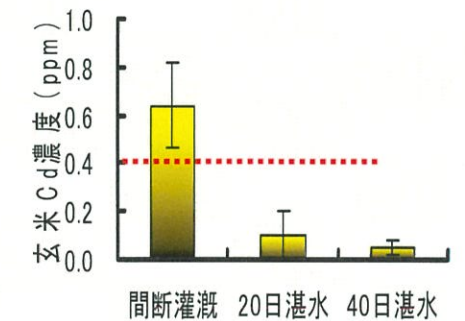


図1 水稻の出穂後の水管理と玄米中のカドミウム濃度
産米流通対策地域の県有施設ほ場試験結果(農研コシカリ)

20日間の「湛水管理」の後には、収穫5～7日前まで

「間断かん水」を行い、「胴割れ」の発生を防止ましょ